

新井 覚 氏

日本精工株式会社 産業機械技術総合開発センター
エグゼクティブ・チーフエンジニア Ph.D.

日時: 2025年3月27日(木)

会場: 工学部2号館3階232講義室

言語: 日本語

技術講演

10:30 - 12:00 第一部

12:00 - 13:00 昼休み

13:00 - 14:30 第二部

14:45 - 16:15 第三部



新井 覚
日本精工株式会社
産業機械技術総合開発センター
エグゼクティブ・チーフエンジニア

本セミナーでは以下に示す3つのトピックを軸に「これからのものづくり」を考察する。

1. ころがり要素の最新技術がもたらすものづくりの新たな展望

加工・設計・制御の基礎知識を前提としつつ、これからのものづくりを見据えた新たな発想と価値、ものづくりの展望について述べる。ここでは工作機械を精密に動かすうえで不可欠なころがり機械要素を例に取り上げ、『常識を超える発想を価値に変えてものづくりに展開する意義』を探る。

2. 設計思想の体系化と新たな発想による工作機械の高機能化

さまざまな加工や機械設計に関する学習内容を踏まえつつ、工作機械に求められる機能と役割、ものづくりの将来像について述べる。ここでは『工作機械の設計がほかの機械の設計とどこが異なっているか』、『今後のものづくりの競争力の源泉はどのようなところに見出せるか』、『設計・計測・制御に求められるこれからの役割』などについて国内外の事例などを題材に述べる。

3. ものづくりの課題感と解決策の方向性についての議論

ものづくりの分野が直面しているさまざまな課題に対して、業界関係者がどのようにそれらを捉え解決の糸口を探る議論がなされているかについて述べる。特に上述のふたつのテーマに関して言及してきた事柄を総括するかたちで、『DXがもたらすものの本質』、『新たな価値を創造し世の中を変えていくヒント』などについて議論する。